

# エコを学んでね 太陽光発電設置

■伏見区の保育園



小さい子どもが地球温暖化について考えるきっかけにしようと、伏見区醍醐柏森町のつくし保育園とNPO法人・きょうとグリーンファンド(下京区)が協力して、同園に太陽光発電設備を完成させ、23日に「点灯式」があった。

同NPOは01年から、市民の寄付金などで

内の幼稚園や保育園に太陽光発電設備を設けており、今回が11カ所目。

つくし保育園でも保護者や卒園生の寄付などで設置が実現した。屋上に太陽電池パネルを並べ、玄関脇には、点灯した電球の数で発電量がわかる表示板⇨写真⇨を取り付けた。

点灯式には園児や保護者ら約100人が出席。

山下茂雄園長(51)が「設置をきっかけに、小さな行動が地球の未来につながるという感覚を子どもたちに持ってほしい」とあいさつした。続いて表示板の覆いが取り除かれ、園児らは「ついた」「きれい」と歓声を上げていた。